



やさしい日本語のポイント

【話す編】



「やさしい日本語」は、外国人にも伝わりやすい日本語です。
ことばも、心もやさしくして、伝えましょう。

ポイント 1

「～です」「～ます」
で話す。

「～へ行く？」より
「～へ行きますか？」

ポイント 2

短く話す。

伝えたいことだけに
しぼりましょう。

ポイント 3

ゆっくり話す。

ポイント 4

最後まではっきり言う。

「お昼ご飯は？」より
「お昼ご飯は
もう食べましたか？」

ポイント 5

あいまいな
表現を避ける。

「嫌いってわけじゃ
ないんだけど…」
↑わかりにくい

ポイント 6

擬音語・擬態語 (オノマトペ)
は使わない。

「今日はバタバタしています」より
「今日は、忙しいです」

ポイント 7

敬語を使わない。

「いらしてください」より
「来てください」

ポイント 8

相手にあわせて
ことばを選ぶ。

相手はどんなことばを
話していますか？
よく聞きましょう。

ポイント 9

ジェスチャーを使う。

話しながら、
手やからだも
動かしましょう。

ポイント 10

やさしい気持ちで
コミュニケーション。



やさしい日本語のポイント

【書く編】



「やさしい日本語」は、外国人にも伝わりやすい日本語です。
ことばも、心もやさしくして、伝えましょう。

ポイント 1

「～です」「～ます」
で書く。

ポイント 2

伝えたい情報を選ぶ。

大事な情報が何か
わかるように書きます。

ポイント 3

短く書く。

「IF エントランス」より
「1階の 入口」

ポイント 4

分かち書きにする。

アケル アケル
中国語と 英語を 話します。

ポイント 5

ふりがなを振る。

とうきょうえき やえす きたぐち
東京駅 八重洲北口に
きて ください。

ポイント 6

擬音語・擬態語 (オノマトペ)
は使わない。

「今日はバタバタしています」より
「今日は、忙しいです」

ポイント 7

やさしいことばを使う。

「徒歩5分」より
「歩いて 5分」

ポイント 8

カタカナ語を
なるべく避ける。

ポイント 9

敬語を使わない。

ポイント 10

写真、イラストを
使う。

スマホで写真などを
見せるのもよい方法です。